

館報

第 28 号



2022

Shizuoka City Toro Museum
静岡市立登呂博物館

目次

1	基本理念・沿革	
1-1	基本理念	3
1-2	沿革	4
2	概要	
2-1	登呂博物館	6
2-2	登呂遺跡	6
3	管理運営	
3-1	利用状況	7
3-2	利用者数詳細	7
3-3	入館者数推移	8
3-4	観覧者数推移（リニューアル後）	8
3-5	体験学習等利用状況	9
3-6	組織	10
3-7	予算・決算	10
4	展示	
4-1	春季企画展「前方後円墳がやってきた - 静岡市の古墳時代 - 」	13
4-2	夏季企画展「ひょっこり有度山展」	15
4-3	秋季企画展「WOOD～木を活かす弥生人～」	17
4-4	冬季企画展「真っ直ぐな刀展」	19
4-5	令和4年度春季企画展「誕生スルガノクニ - 静岡市の奈良・平安時代 - 」	21
4-6	特別展・企画展開催実績（リニューアル後）	23
4-7	通常展示	25
5	保存活用	
5-1	修理事業	26
5-2	資料貸出	27
5-3	寄贈	27
6	教育普及	
6-1	主催事業	28
6-2	共催・連携事業	31
6-3	講師派遣・出張講座	33
7	職場体験・博物館実習等	
7-1	職場体験	34
7-2	視察等受入	34
7-3	博物館実習	34
8	広報	
8-1	広報印刷物	35
8-2	ウェブサイト・SNS	36
8-3	報道・広告等	37
8-4	トロペー	39
9	その他	
9-1	博物館ボランティア	40
9-2	博物館協議会	42
10	利用案内	44

1 基本理念・沿革

1-1 基本理念

登呂博物館は、登呂遺跡と一体化した博物館として昭和47年に開館し、平成22年10月にリニューアルオープンしました。リニューアルに際し策定された「建替基本構想」（平成18年3月）では次のとおり基本理念が定められました。

基本方針

登呂遺跡は、特別史跡として貴重な国家的文化遺産であり、静岡市を代表する文化的シンボルであります。新たな博物館は、この登呂遺跡と一体化した遺跡博物館になることを目指し、登呂遺跡の保存と後世への継承、有意義で幅広い活用に努めます。

また、登呂遺跡の発掘調査によって明らかにされた稲作農耕文化とその発掘調査がもたらした意義を博物館活動の中心テーマに据え、博物館の内外でさまざまな活動を展開します。

そして、登呂遺跡が伝える歴史や文化あるいは地域について、豊かな実感を持って学ぶことができる場となり、人々の活気にあふれる集いと温もりのある交流を生み出していく役割を果たします。

役割と使命

- 1 登呂遺跡と一体化した遺跡博物館
- 2 稲作農耕文化に関する調査・研究の拠点
- 3 登呂遺跡の発掘調査がもたらした意義の継承
- 4 情報の収集と発信、ネットワーク化の推進
- 5 楽しく・豊かに・実感できる学びの創出
- 6 学校教育との連携・生涯学習への支援
- 7 「登呂学」の創造を通じた集いと交流の促進



登呂博物館ロゴマーク

また、博物館リニューアルに先立ち、登呂遺跡については、平成7年3月に有識者委員会によって「特別史跡登呂遺跡保存整備基本計画」が策定され、平成11年度から15年度にかけて再発掘調査が行われました。

そして、再発掘調査の結果を基にして「特別史跡登呂遺跡再整備基本設計」が平成17年3月に策定され、平成18年度から平成23年度にかけて再整備事業が行われました。

「基本設計」では再整備の目的・方針について、次のように定められています。

整備の目的

登呂遺跡は、今日までつづく日本の農耕文化の初期段階（弥生時代の実態をしめし、弥生時代の社会の様子を学ぶことのできる貴重な遺跡である。そうした登呂遺跡の特徴を良好に保存しつつ、正しく理解し、継続的な遺跡空間の活用を図る。また、地域住民に親しまれ、活かされることで、地域の誇りとして長く受け継がれていく遺跡となるようにする。

1. 登呂遺跡を正しく理解するために、遺構の精密な検討をもとに復元的に整備を行う。
2. 史跡整備の先駆として、常に新たな体験と情報が発信できる機能を有した整備とする。
3. 地域の人々が遺跡の活用と運営に積極的に関わることができる機能と運営体制を整える。地域の人々の生活の一部としての機能を保持する。

4. 整備により整えられた機能を活かし、継続的に保存・活用して行くための運営体制の充実を図る。

整備方針

学術的な成果に基いて復原整備を行うと共に、より多くの人々が関わりを持てる遺跡となるようにするため、活用を中心として運営が行えるように整備を行う。また、現在の登呂遺跡は都市公園としても位置付けられ、災害時の広域避難地にも利用されることから、都市公園としての機能も含んだ整備とする。

1. 盛土等により、遺構の保存を図った上で活用を行う。
2. 住居域と水田域を一体として感じられる空間として整備を行う。
3. 体験を重視した遺跡運営を継続的に行うことのできる整備とする。
4. 遺跡のエントランス機能と体験・情報発信の中心として博物館を充実させるとともに、遺跡公園と博物館の一体化を図り整備を行う。
5. 遺跡公園としての復元的空間表現を重視した整備とするとともに、従来の都市公園的機能を取り入れる。(都市公園としての機能は遺跡外周部に集約する。)

1-2 沿革

昭和 18 年 (1943)	1 月	軍需工場建設の際、遺跡が発見される
	7 月 11 日	「登呂遺跡発見」の新聞報道 (毎日新聞静岡版)
	8~9 月	静岡県による第一次発掘調査
昭和 20 年 (1945)	6 月 20 日	静岡大空襲。調査記録・大型木製資料などが焼失
昭和 22 年 (1947)	7 月	「登呂遺跡」を正式名称に決定
	7~9 月	静岡市登呂遺跡調査会による第二次発掘調査開始 (7 月 13 日鋤入式)
	11 月	東京国立博物館にて『登呂遺跡出土品特別展』開催 (昭和 23 年にも)
昭和 23 年 (1948)	4 月	日本考古学協会発足。静岡市登呂遺跡調査会解散
昭和 23 年~25 年 (1948~50)		日本考古学協会による第三次~第五次発掘調査
昭和 24 年 (1949)	11 月	調査報告書『登呂』 (日本考古学協会編、毎日新聞社発行) 刊行
昭和 25 年 (1950)	4 月	奈良国立博物館にて 『古代農耕文化展 -登呂遺跡・瓜郷遺跡・唐古遺跡から見た-』開催
昭和 26 年 (1951)	1 月	登呂遺跡休憩所 (案内所・名物協会売店併設) 竣工
	3 月	1 号復元住居を建設
昭和 27 年 (1952)	4 月	1 号高床倉庫を建設
	3 月 29 日	国史跡に指定 (11,600 m ²)
	11 月 22 日	国特別史跡に指定 (11,600 m ²)
昭和 29 年 (1954)	9 月	調査報告書『登呂-本編-』 (日本考古学協会編、毎日新聞社発行) 刊行
昭和 30 年 (1955)	4 月	静岡考古館 開館 (各研究機関からの出土品の返還を受けて)
昭和 34 年~42 年 (1959~67)		遺跡隣接地を購入し、都市公園として整備
昭和 35 年 (1960)		地元住民が「登呂会」を結成。第一回「登呂まつり」開催
昭和 40 年 (1965)	7~8 月	東名高速道路建設に伴う静岡県文化財保存協会による第六次発掘調査
昭和 41 年 (1966)		遺跡隣接地・水田部分 (48,300 m ²) が史跡に仮指定される
昭和 43 年~47 年 (1968~72)		住居跡・森林跡・水田跡の一部・東名高架下を整備
昭和 46 年 (1971)	10 月	静岡考古館 閉館
昭和 47 年 (1972)	4 月 1 日	静岡市立登呂博物館 開館

昭和 47 年～53 年 (1972～78)		水田跡を復元整備
昭和 49 年 (1974)	2 月 20 日	天皇・皇后両陛下ご来館
昭和 53 年 (1978)	12 月 21 日	仮指定地が特別史跡に追加指定 (48,300 m ²)
昭和 56 年 (1981)	6 月	公園内に「静岡市立芹沢銈介美術館」開館
昭和 59 年 (1984)		登呂遺跡発見 40 周年記念事業の開催 (シンポジウムほか)
昭和 63 年 (1988)	10 月	日本考古学協会設立 40 周年記念静岡大会 「日本における稲作農耕の起源と展開」開催
平成 2 年 (1990)	6 月	「弥生人体験クラブ」結成
平成 4 年 (1992)	10 月	静岡県浙江省友好提携 10 周年記念シンポジウム 「イネのルーツ・シンポジウム～登呂のルーツは浙江省にあり」開催
	11 月	博物館開館 20 周年式典開催
平成 5 年 (1993)		登呂遺跡発見 50 周年記念事業の開催 (シンポジウムほか) 「市民水田」事業の開始
平成 6 年 (1994)	3 月	博物館リニューアル。1 階を参加体験ミュージアムとしてオープン
平成 7 年 (1995)		「博物館ボランティア」の導入
平成 11 年～15 年 (1999～2003)		登呂遺跡再発掘調査 (第 19 次～23 次調査)
平成 15 年 (2003)	11 月	登呂遺跡発見 60 周年記念シンポジウム 「弥生時代の登呂ムラと各地のムラ」開催
平成 16 年 (2004)	2 月 27 日	登呂遺跡出土品 699 点が静岡県指定文化財に指定
平成 18 年～23 年 (2006～2011)		登呂遺跡再整備
平成 19 年 (2007)	6 月 30 日	登呂博物館 閉館
平成 20 年 (2008)	9 月 13 日	第四回日本考古学協会公開講座 ～考古学から見えてきたふるさとの歴史～ 「はじまりは登呂遺跡 -弥生農村の実像を求めて-」開催
平成 21 年 (2009)		登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター「トロペー」誕生
平成 22 年 (2010)	10 月 3 日	登呂博物館リニューアルオープン
平成 23 年 (2011)	9～10 月	リニューアル一周年記念特別展 「発掘された日本列島 2011」を開催 (全国巡回展の一会場として)
平成 28 年 (2016)	8 月 17 日	登呂遺跡出土品 775 点が重要文化財に指定
	11 月	重要文化財指定記念イベント「とろエンナーレ 2016」開催
	11 月 19 日	重要文化財指定記念シンポジウム 「遺跡からみる 弥生集落のかたち」開催
平成 30 年 (2018)		重要文化財指定資料の修理事業開始
	4 月 24 日	音声ガイドの利用開始
	11 月 3 日	日本考古学協会設立 70 周年記念事業の一つとして 公開講演会「子どもたちと語る考古学と未来」開催
平成 31 年 (2019)	10 月 1 日	登呂博物館公式 Twitter「トロペーのひとりごと」運用開始
令和 2 年 (2020)	1 月	登呂博物館新公式ホームページ公開
	4～5 月	新型コロナウイルス感染拡大防止により休館

2 概要

2-1 登呂博物館

(1) 開館日 昭和 47 年 4 月 1 日
リニューアルオープン 平成 22 年 10 月 3 日

(2) 建物

ア 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 2 階

イ 面積 建築面積 1,259.64 m²

延床面積 2,296.52 m²

部門	諸室	面積(m ²)
保管	一般収蔵庫	96.65
	特別収蔵庫	25.41
	前室	19.29
展示	体験展示室	286.26
	常設展示室	211.82
	特別・企画展示室	96.90
	展示準備室	10.98
調査研究	調査研究室、写場	53.51
教育普及	交流ホール(収納庫除く)	160.18
交流	図書コーナー、書庫など	180.55
搬入搬出	トラックヤード、荷解場	97.39
管理運営	ミュージアムショップ	26.64
	事務室	69.79

(3) 建設業者

建築設計 株式会社川口建築都市設計事務所
(現 合同会社デザイン・アープ)

展示設計 株式会社丹青社

建築工事 木内建設株式会社

電気工事 近和電業株式会社

衛生工事 大和工機株式会社

空調工事 内川工業株式会社

昇降機工事 株式会社日立製作所

展示工事 株式会社丹青社

展示情報工事 NEC ネットズエスアイ株式会社

2-2 登呂遺跡

(1) 遺跡の性格

特別史跡、都市公園(登呂公園)、一時避難地

(2) 面積

総面積 約 66,000 m²*

(うち特別史跡指定面積 59,900 m²)

※特別史跡に博物館・美術館・銚介の家を加えた面積

(3) 復元建物

ア 棟数 住居 5 棟^{※1,2}

高床倉庫 3 棟^{※1}

祭殿 1 棟

※1 各 1 棟は昭和年間に設計のもの

※2 1 棟は鉄骨造 GRC パネル貼り構造

イ 設計 昭和-関野克 平成-宮本長二郎

(4) 復元水田 面積 約 21,000 m²

(5) 再整備設計 株式会社文化財保存計画協会

(6) 管理状況

ア 遺跡、博物館等

静岡市観光交流文化局文化財課

イ 芹沢銚介美術館

静岡市観光交流文化局文化振興課

ウ 登呂公園(学びの広場、園路など)

静岡市都市局都市計画部緑地政策課、

公園整備課

エ 駐車場運営

公益財団法人するが企画観光局

営業時間 8:30 - 17:00

料金 普通車 400 円、バス 1,500 円

オ ミュージアムショップ運営

大石商店

3 管理運営

3-1 利用状況

令和3年度博物館利用状況（）内は前年度の値

開館日数 302日（264日）

入館者数 118,132人（97,168人）

観覧者数 38,300人（29,327人）

団体見学 303団体※（274団体） ※減免処理した学校団体と一般団体の合計

3-2 利用者数詳細（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
有料観覧者数	一般	個人	882	1,382	851	964	1,175	662	791	1,028	713	769	826	1,341	11,384
		団体	0	0	78	0	30	0	0	0	0	0	0	32	140
		回数券	6	6	6	14	10	10	2	18	12	17	2	15	118
		助成券	11	23	16	19	20	12	10	14	7	7	12	17	168
		共通個人	189	414	201	323	293	182	297	370	169	256	291	343	3,328
		共通団体	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60
	小計	1,148	1,825	1,152	1,320	1,528	866	1,100	1,430	901	1,049	1,131	1,748	15,198	
	高校・大学生	個人	66	67	53	53	101	55	58	54	63	52	83	170	875
		団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		回数券	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	5	15
		助成券	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	5
		共通個人	11	18	15	13	17	22	34	17	9	21	20	43	240
		共通団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	77	86	69	66	118	77	92	76	73	74	108	219	1,135	
	小・中学生	個人	175	296	163	329	521	174	142	256	113	151	158	421	2,899
		団体	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		回数券	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5
		助成券	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	5
共通個人		6	15	8	30	39	11	18	15	8	12	10	15	187	
共通団体		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	181	312	172	360	561	185	160	272	126	163	169	436	3,097		
合計	1,406	2,223	1,393	1,746	2,207	1,128	1,352	1,778	1,100	1,286	1,408	2,403	19,430		
無料観覧者数	一般	学校行事	48	127	185	81	0	6	174	289	157	16	1	20	1,104
		身障者	50	74	56	71	45	34	101	103	66	72	61	111	844
		老年人	43	45	57	44	48	42	55	39	9	55	68	50	555
		施設	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
		視察等	0	0	0	0	0	0	14	0	5	0	0	0	19
		その他	6	17	17	6	1	1	7	41	10	3	2	0	111
	小計	152	263	315	202	94	83	351	472	247	146	132	181	2,638	
	高校・大学生	学校行事	0	0	30	8	0	0	0	8	0	0	13	0	59
		身障者	0	1	2	1	0	0	1	1	7	0	0	1	14
		研究	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	19
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	2	0	7
	小計	0	1	32	28	0	0	1	9	12	0	15	1	99	
	小・中学生	学校行事	755	1,734	3,054	1,165	0	19	1,936	2,764	1,504	179	0	423	13,533
		身障者	9	22	18	16	8	6	7	22	6	4	2	6	126
		市内	121	159	121	143	158	50	66	120	23	42	48	74	1,125
		キッズ	24	105	60	81	53	20	27	31	12	11	27	41	492
		幼児	62	95	84	68	106	68	60	78	39	60	68	64	852
		施設	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
小計	976	2,115	3,337	1,473	325	163	2,096	3,015	1,584	296	145	608	16,133		
合計	1,128	2,379	3,684	1,703	419	246	2,448	3,496	1,843	442	292	790	18,870		
総計	観覧者	2,534	4,602	5,077	3,449	2,626	1,374	3,800	5,274	2,943	1,728	1,700	3,193	38,300	
	総入館者	7,490	15,593	14,226	10,118	8,404	5,351	11,088	16,343	8,300	5,955	5,507	9,757	118,132	

3-3 入館者数推移（単位：人）

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
22	-	-	-	-	-	-	27,255	18,323	10,780	14,372	16,636	14,948	102,314
23	25,094	29,751	20,176	15,028	26,905	12,557	18,758	14,290	8,486	10,523	13,019	13,026	207,613
24	24,132	27,420	14,333	13,025	23,665	13,366	15,592	13,267	7,260	10,126	13,426	14,254	189,866
25	19,688	26,403	14,434	11,286	22,603	11,489	18,326	14,561	7,424	10,418	10,285	16,210	183,127
26	22,361	28,563	13,940	11,398	25,578	12,311	18,483	13,945	4,973	8,887	10,614	12,976	184,029
27	23,132	27,869	12,493	11,638	21,821	16,666	17,429	12,150	6,821	9,691	10,397	16,329	186,436
28	24,112	29,217	12,727	12,787	21,039	10,708	16,663	13,591	7,601	9,545	10,795	16,106	184,891
29	19,882	23,605	14,930	11,352	23,020	10,145	15,195	11,274	6,562	9,129	10,139	12,358	167,591
30	20,688	24,713	13,215	10,411	21,188	12,139	16,417	11,125	7,599	8,611	9,582	12,108	167,796
31(1)	20,657	27,282	15,230	12,358	21,300	12,191	11,914	12,828	6,691	8,494	11,241	9,382	169,568
2	2,510	0	7,346	8,547	10,893	10,630	15,254	15,887	6,928	4,434	6,691	8,048	97,168
3	7,490	15,593	14,226	10,118	8,404	5,351	11,088	16,343	8,300	5,955	5,507	9,757	118,132
リニューアル後（H22～R3）													1,958,531
旧博物館（S47～H19）													6,954,504
合 計													8,913,035

3-4 観覧者数推移（リニューアル後）（単位：人）

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
22	-	-	-	-	-	-	9,306	6,407	3,000	4,163	5,161	4,216	32,253
23	9,128	10,711	6,290	4,514	7,763	4,169	7,023	5,101	2,178	3,105	3,066	3,360	66,408
24	8,049	9,541	4,368	3,442	8,222	3,873	3,841	3,782	1,942	2,484	3,240	3,362	56,146
25	6,705	9,172	3,746	2,772	6,268	2,699	3,780	3,359	1,515	2,169	1,736	3,112	47,033
26	7,116	9,031	3,640	2,284	6,096	2,686	3,367	2,802	815	1,873	2,036	2,210	43,956
27	7,287	7,045	3,283	2,725	4,863	3,506	2,875	2,418	929	1,713	2,144	3,708	42,496
28	7,656	7,957	3,795	3,263	4,894	2,603	3,288	2,613	1,555	2,307	2,552	3,329	45,812
29	6,600	6,136	4,125	3,035	5,734	1,881	3,104	2,347	1,003	2,462	2,676	2,688	41,791
30	6,385	6,557	3,399	2,121	4,725	2,285	3,064	1,770	1,246	1,796	1,817	2,260	37,425
31(1)	6,144	7,881	3,872	2,650	4,699	2,365	2,065	2,639	1,191	1,755	2,483	1,513	39,257
2	188	0	1,929	2,386	4,113	3,505	5,194	4,360	2,106	1,097	2,072	2,377	29,327
3	2,534	4,602	5,077	3,449	2,626	1,374	3,800	5,274	2,943	1,728	1,700	3,193	38,300
合 計													520,204

3-5 体験学習等利用状況

(1) 屋外体験

- ・登呂の“ムラ人”として遺跡案内を実施
- ・体験学習(火おこし、土器炊飯)の実施と解説
火おこし：実際に着火するまでの実演
土器炊飯：台付甕形土器のレプリカを使用して
登呂遺跡で栽培していた可能性がある赤米を炊飯・試食に供している
※新型コロナウイルス感染対策のため令和3年度は実施せず
- ・「屋外体験指導員」(会計年度任用職員：常置配置数1～4人)が対応
- ・「屋外体験指導員」の活動は、文化庁の「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業国庫補助」を受けて、実施している

月	来場案内者	火起こし
4	6,000	1,766
5	11,380	2,946
6	11,765	4,239
7	8,170	2,367
8	6,711	1,369
9	4,447	826
10	10,199	2,919
11	15,161	3,325
12	7,434	2,480
1	5,065	1,293
2	4,375	756
3	8,181	1,800
合計	98,888	26,086

(2) 弥生体験展示室

- ・体験学習の実演(臼と杵による脱穀・穂摘み・田下駄)及び解説、パンフレットの配布
- ・貫頭衣着用・丸木舟・土器パズル等体験実施なし、展示のみ
- ・「体験指導員」(会計年度任用職員：常置配置数2～3人)及びボランティアスタッフが対応

(3) 図書コーナー

- ・登呂遺跡に関する資料、全国の博物館の展示図録や発掘調査報告書・歴史専門書・こども向けの歴史関連図書を配架
- ・特別展・企画展の関連資料等を陳列
- ・利用者 令和3年度：4,092人
- ・会計年度任用職員(常置職員数1～2名)が対応
※資料・図書等の貸出は行っていない

(4) 情報・映像コーナー

- ・登呂博物館が所蔵する遺物・図書の検索
- ・市内の観光案内などの情報の提供
- ・全国の博物館や公共施設等の催事情報を提供
- ・「子ども学芸員養成講座」による展示(8月)
- ・博物館実習生による展示(8月～9月)
- ・静岡市文化財課による展示(9月)
- ・静岡県埋蔵文化財センターによる展示(10月～12月)
- ・「トロペーの博物館案内」(映像案内)を常時上映

3-6 組織

静岡市観光交流文化局

文化財課

- ├ 文化財保護係
- ├ 埋蔵文化財係 - 埋蔵文化財センター
- ├ 三保松原文化創造センター
- └ 登呂博物館

- ・ 登呂博物館職員数 19 人
 正規職員 7 人（登呂博物館長 1 人、主査 1 人、主任主事 3 人、主事 2 人）
 会計年度任用職員 12 人
- ・ ボランティア 57 人（令和 3 年 4 月 1 日時点）

3-7 予算・決算

(1) 令和 3 年度歳入 ※予算額は年度当初の予算額（歳出も同様）

収入科目	予算額	決算額	備考
博物館使用料	5,571,000	4,858,893	博物館観覧料、博物館施設使用料（行政財産：電柱等）
文化財保護費補助金 （国庫補助金）	4,479,000	4,327,000	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 （出土品保存修理事業、「登呂ムラ」発信事業）
博物館費補助金 （国庫補助金）	440,000	40,000	令和 2 年度文化芸術振興費補助金 （登呂博物館感染症防止対策事業）
土地貸付収入	3,333,000	3,120,836	一般土地貸付料（普通財産：駐車場土地ほか）
各種発行物売払収入	678,000	323,390	図録売払収入
教室等会費収入	275,000	354,800	講座・講演会参加料
雑収	116,000	114,301	社会教育費雑入（ミュージアムショップ光熱費）
合計	14,892,000	13,133,920	

(2) 令和 3 年度歳出

ア 公園管理費

支出科目	予算額	決算額	備考
需用費	730,000	543,575	
光熱水費	(670,000)	(543,575)	電気・水道代
(維)修繕料	(60,000)	(0)	登呂遺跡北側ガイダンストイレ修繕費
委託料	788,000	324,244	北側ガイダンス施設エレベーター保守委託ほか
合計	1,518,000	867,819	(ア)

イ 文化財保護費

支出科目	予算額	決算額	備考
<文化財保護管理費>			

需用費	792,000	535,553	
消耗品費	(18,000)	(17,686)	水田管理用品ほか
燃料費	(13,000)	(10,792)	耕運機燃料ほか
光熱水費	(441,000)	(408,075)	電気・ガス・水道代
(維)修繕料	(320,000)	(99,000)	遺跡修繕工事費
役務費	54,000	38,292	電話代ほか
委託料	6,023,000	5,940,961	遺跡清掃、植栽、修理業務委託ほか
委託料(政策)	550,000	495,000	燻蒸業務
<文化財整備活用事業費>			
需用費	30,000	30,000	
消耗品費	(30,000)	(30,000)	培土等
旅費	62,000	54,990	出土品修理の指導監督に係る旅費
委託料	3,237,000	3,236,210	重要文化財登呂遺跡出土品保存処理業務
合計	10,748,000	10,331,006	(イ)

ウ 給与費

支出科目	予算額	決算額	備考
報酬	184,000	172,500	博物館協議会委員報酬
合計	184,000	172,500	(ウ)

エ 博物館管理運営費

支出科目	予算額	決算額	備考
報償費	281,000	275,000	企画展関連講座、教育普及事業講師謝金ほか
旅費	442,000	94,944	展示準備関係旅費ほか
需用費	13,244,000	12,509,491	
消耗品費	(1,474,000)	(1,449,862)	一般事務及び管理用品ほか
燃料費	(2,000)	(1,948)	軽油
印刷製本費	(2,431,000)	(2,157,072)	企画展ポスター・チラシほか
光熱水費	(7,737,000)	(7,701,059)	電気・水道代
(物)修繕料	(200,000)	(0)	物品等修繕料
(維)修繕料	(1,400,000)	(1,199,550)	博物館施設修繕工事費
役務費	1,758,000	1,429,891	電話代・クリーニング代ほか
委託料	27,248,000	24,913,599	施設管理のための業務委託ほか
使用料及び賃借料	6,365,000	6,348,656	複写機使用料、システム使用料ほか
備品購入費	241,000	240,504	A1 プリンター
負担金、補助及び交付金	94,000	88,000	日本博物館協会負担金ほか
備品購入費(政策)	2,000,000	1,999,800	券売機
合計	45,308,000	41,551,229	(エ)

オ 観光総務費

支出科目	予算額	決算額	備考
負担金、補助及び交付金	1,388,000	0	登呂まつり補助金
合計	1,388,000	0	(オ)

カ 歳出総計

	予算額	決算額	備考
総計	59,146,000	52,922,554	(ア) + (イ) + (ウ) + (エ) + (オ)

4 展示

4-1 春季企画展「前方後円墳がやってきた。 - 静岡市の古墳時代 -」

会 期：令和3年3月20日(土祝)～6月13日(日)
 ≪86日間≫

概 要：静岡市の歴史を紹介する展示の第三弾。現代につながる古墳時代について、静岡市内から出土した資料を中心にその様相を紹介した。

観覧者：9,129人

一 般	4,405人
高校生・大学生	302人
小学生・中学生	4,422人

点 数：300点

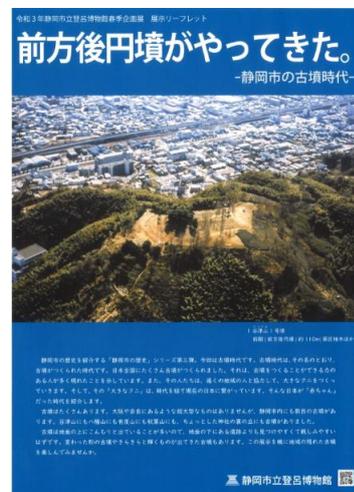
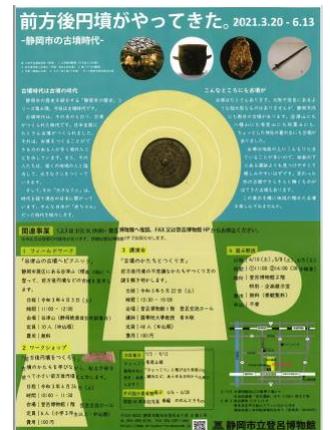
資料協力： 静岡県埋蔵文化財センター
 静岡大学
 焼津市教育委員会
 浜松市教育委員会
 浜松市博物館

印刷物：(1) チラシ
 サイズ：A4
 数 量：10,400枚
 紙 質：微塗工紙 四六判 86kg

(2) ポスター
 サイズ：B2、A2
 数 量：440枚、1,560枚
 紙 質：マットコート紙 四六判 110kg

(3) リーフレット
 構 成：A4 8頁 中綴じ
 数 量：2,000部
 紙 質：マットコート紙 四六判 90kg

担当：鈴木匡



関連事業

(1) フィールドワーク「谷津山の古墳へピクニック」

概要：谷津山に登り、前方後円墳などの古墳群を見学した。

日時：令和3年4月3日（土）11：00～12：00

会場：谷津山

料金：無料

人数：9人

(2) ワークショップ「前方後円墳をつくろう」

概要：古墳の形状を学びながら、糊パネ、粘土、砂などを使って前方後円墳（15cm程度）を工作した。

日時：令和3年4月24日（土）10：00～11：30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

料金：100円

人数：8人（小学3年以上）

(3) 講演会「古墳のかたちとつくり方」

概要：古墳のつくり方や時代ごとの特徴的な形状について、解説していただいた。

日時：令和3年5月22日（土）13：30～15：00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：國學院大学教授 青木 敬

料金：100円

人数：36人

(4) 展示解説

日程：4月10日（土）

5月8日（土）

6月8日（土）

時間：11：00～、14：00～

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：139人

広報・報道 ※令和2年度分を含む

(1) テレビ・ラジオ

・NHK 静岡 4/7(水) 「たっぷり静岡」内「みーつけた」放送

(2) その他

・静岡市広報紙『静岡気分』3月号

・『すろーかる』3月号～5月号

・『タウン新聞静岡』4月号

・『ミュージアム通信』3月号

・静岡県文化財団『グランシップマガジン 25号』



4-2 夏季企画展「ひょっこり有度山展」

会 期：令和3年7月3日(土)～9月12日(日)
 ≪62日間≫

概 要：静岡・清水平野に「ひょっこり」出現したような有度山の多様な特徴と今日までの利用の変遷などを紹介し、静岡市の地理的、歴史的な特色や魅力として発信することで来館者の興味を深める。



観覧者：5,456人

一 般 3,280人
 高校生・大学生 246人
 小学生・中学生 1,930人

点 数：256点



資料協力：静岡県埋蔵文化財センター
 静岡市立芹沢銈介美術館

印刷物：(1) チラシ

サイズ：A4

数 量：11,520枚

紙 質：微塗工紙 四六判 86kg

(2) ポスター

サイズ：B2片面、A2片面

数 量：B2 440枚、A2 1,560枚

紙 質：マットコート紙 四六判 110kg

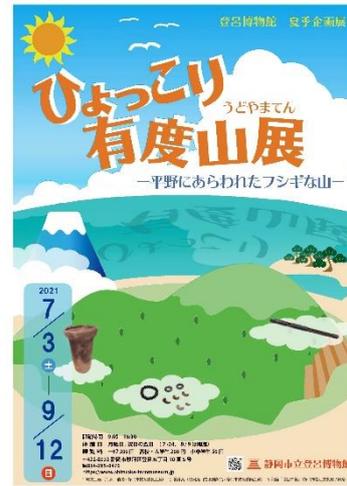
(3) リーフレット

サイズ：A4

数 量：3,000部

紙 質：マットコート紙 四六判 90kg

担当者：梶山 倫裕



関連事業

(1) 登呂博物館市民講座「再発見！有度山の歴史・文化」(全3回連続講座)

会 場：静岡市地域福祉共生センター「みなくる」

内 容：第1回 令和3年7月21日(水) 19:00~20:30

【有度山西・北麓エリア/考古学】「古墳時代の有度山 ～静岡の一大古墳エリアと横穴～」

講師：田村 隆太郎 氏(静岡県スポーツ・文化観光部 文化財課 主幹)

第2回 令和3年8月4日(水) 19:00~20:30

【有度山東麓/旅・芸術】「富士山と三保松原を眺める～芸術を生んだ有度山東麓～」

講師：大竹 芙美 氏(じゃらんリサーチセンター 総合プロデューサー)

第3回 令和3年8月18日(水) 19:00~20:30

【有度山南麓/歴史・民俗】「久能山東照宮と巡礼の道「久能街道」

講師：中村 羊一郎 氏(静岡市観光交流文化局 歴史文化拠点推進監(専門委員))

参加者：59名+関係者

(2) 展示解説

日程：7月11日(土)、8月8日(土)、9月5日(土)、

時間：11:00～、14:00～

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料(要観覧料)

人数：77人

広報・報道

- ・静岡市広報紙『静岡気分』7月号
- ・『すろーかる』7～9月号
- ・静岡新聞ウィークリーガイド
- ・webサイトへの登録 など



4-3 秋季企画展「WOOD-木を活かす弥生人-」

会 期：令和3年10月2日（土）～11月28日（日）
 《58日間》

概 要： 静岡県では多くの弥生時代の木製品が出土している。この木製品から、大きな木を切り倒して木製品に加工できる技術があり、木器や木製品を活発に加工していたことがわかる。大径木を加工できる技術や、加工具・木製品などを紹介することで、人々が木材を活かし、日々の生活に対応していた様子を紹介した。

観覧者：6,443人

一 般	2,828人
高校生・大学生	155人
小学生・中学生	3,460人

点 数：70点

資料協力：静岡県埋蔵文化財センター
御前崎市教育委員会
浜松市博物館
鳥取県とっとり弥生の王国推進課

印刷物：(1) チラシ

 サイズ：A4

 数 量：15,100枚

 紙 質：マットコート紙 四六判 90kg

(2) ポスター

 サイズ：B2、A2

 数 量：330枚、1,580枚

 紙 質：マットコート紙 四六判 110kg

担当者：國島 朋子



関連事業

(1) 関連講演会「木を活かす弥生人」

概要：登呂遺跡をはじめとした静岡平野では、スギの大径木を加工していた。その背景となった加工工具の発達や森林環境について講演していただいた。

日時：令和3年10月24日（日）13:30～15:00

会場：静岡市地域福祉共生センター みなくる

講師：東京都立大学 特任教授 山田 昌久 氏

料金：無料

人数：30人



(2) 関連イベント「腰掛づくりワークショップ」

概要：一枚のスギ材から、登呂遺跡で実際に出土した組み合わせ式の腰掛を作ってもらった。

日時：令和3年11月21日（日）10:00～13:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：創作工房風夢 代表 下茂 俊幸 氏

料金：1,200円

人数：10組



(3) 展示解説

日程：10月2日（土）

11月6日（土）

11月28日（日）

時間：11:00～、14:00～

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：108人



広報・報道

- ・静岡市広報紙『静岡気分』10月号
- ・『すろーかる』10月号、11月号
- ・『ミュージアム通信』10月号
- ・静岡県文化振興財団『グランシップマガジン 27号』

4-4 冬季企画展「真っ直ぐな刀展」展

会 期：令和4年1月8日（土）～2月27日（日）
 ≪51日間≫

概 要：昨今は、戦国武将と共に日本刀ブームがある。そのため、武士が多用した平安時代以降の反りがある日本刀は多く紹介されているが、その源流には、先史・古代に大陸から伝わり日本で広まった反りのない「直刀」がある。今回の展示では、古墳～奈良時代に最盛期を迎え、平安時代以降、日本人が独自の日本刀文化（湾刀）を創り上げる基となった直刀の魅力を紹介したい。

観覧者：2,974人

一 般	2,136人
高校生・大学生	180人
小学生・中学生	658人

点 数：65点

資料協力：静岡市文化財資料館
 静岡県埋蔵文化財センター
 佐野美術館
 富士山かぐや姫ミュージアム

印刷物：(1) チラシ

サイズ：A4
 数 量：13,500枚
 紙 質：コート紙 四六判 90kg

(2) ポスター

サイズ：B2、A2
 数 量：360枚、1,580枚
 紙 質：マットコート紙 四六判 110kg

(3) リーフレット

サイズ：A4 (A3両面1枚を中折)
 数 量：3,000部
 紙 質：マットコート紙 四六判 90kg

担当者：中村匠吾



関連事業

(1) 講演会「古代の直刀～鉄の文化 日本刀の原点を探る」

概要：古墳時代に存在していた直刀（上古刀）はどのような存在であったか、また日本人にとっての刀の意味や価値について講演してもらった。

日時：令和4年1月29日（土）13：30～15：10

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

料金：100円

人数：39人



(2) 「日本刀演武を見よう」

【中止】

日時：令和4年2月12日（土）13：30～16：00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール・

料金：無料

概要：静岡県内の居合道流派4団体による演武を披露する。真剣等を使用した居合のデモンストレーションを行っていただく内容で計画した。

軋黽：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

(3) 展示解説

日程：1月15日（土）、2月5日（土）、
6日（日）、20（日）（20日は新型コロナウイルス感染症防止のため中止）

時間：11：00～、14：00～

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：39人

広報・報道

(1) 新聞

- ・静岡新聞「日本刀の精神性を解説」
- ・読売新聞「直刀の魅力 まっすぐに」
- ・毎日新聞「古代の直刀から日本刀への変遷」

(2) その他

- ・静岡市広報紙『静岡気分』1月号
- ・『すろーかる』2月号
- ・「リビング静岡」令和4年1月号
- ・JR 静岡駅構内動画
- ・Web サイトへの登録

4-5 令和4年度春季企画展「誕生スルガノクニー 静岡市の奈良・平安時代ー」

会 期：令和4年3月19日（土）～6月12日（日）
 ≪73日間≫

概 要：静岡市の歴史を紹介する展示の第4弾。日本の政治の原点となる「制度」がどのように整備され、古代「駿河区」は生まれたのかを紐解く展示。

観覧者： 11,640 人
 一 般 6,032 人
 高校生・大学生 462 人
 小学生・中学生 5,146 人

点 数：202 点

資料協力：静岡県埋蔵文化財センター 磐田市教育委員会
 藤枝市教育委員会 三島市教育委員会
 函南町教育委員会

印刷物：(1) チラシ

サイズ：A4

数 量：13,500 枚

紙 質：コート紙 四六判 90kg

(2) ポスター

サイズ：B1、B2、A2

数 量：3 枚、360 枚、1,580 枚

紙 質：コート紙 四六判 110kg

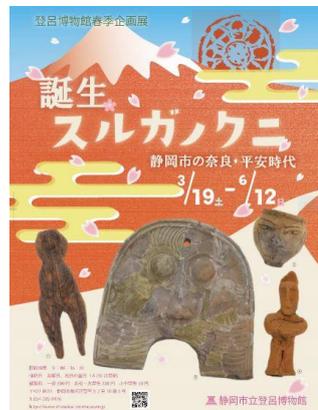
(3) リーフレット

構 成：A4 8 頁 中綴じ

数 量：2,000 部

紙 質：マットコート紙 四六判 90kg

担当者：梶山 倫裕



関連事業

(1) 講演会「古代スルガノクニのまつりごと」

概要：奈良・平安時代の古代駿河国の郡衙で行われていた地方支配や祭祀の実態を当時の社会情勢を踏まえて講演いただいた。

日程：令和4年5月15日（日）

時間：13：30～15：00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：静岡県考古学会 丸杉 俊一郎 氏
(菊川市教育委員会)

人数：45人

費用：100円



(2) 展示解説

日程：3月26日（土）

4月24日（日）

6月5日（日）

時間：11：00～、14：00～

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

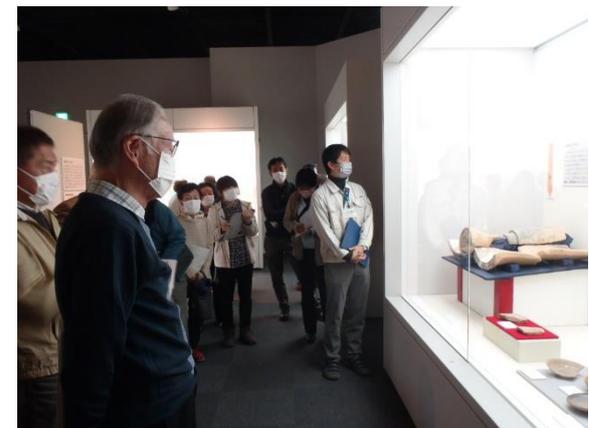
料金：無料（要観覧料）

人数：73人



広報・報道

- ・静岡市広報紙『静岡気分』3月号
- ・『すろーかる』4月号
- ・「リビング静岡」令和4年1月号
- ・JR静岡駅構内ポスター
- ・静鉄駅舎構内ポスター
- ・Webサイトへの登録



4-6 特別展・企画展開催実績（リニューアル後） ※網掛けは特別展

年度	会期	展覧会名	観覧者数
22	2010.10.3～12.5	ひらけ！弥生の扉 弥生人の脳に刻まれた記憶	16,413
	2010.12.18～2011.1.30	うつわ展	4,595
	2011.2.19～3.27	子どもたちの考古学 考古学はじめての一步	5,817
23	2011.4.23～6.19	復元された古代建物 はじまりは登呂遺跡	18,937
	2011.7.9～9.4	登呂遺跡発掘物語 子どもたちに伝えよう登呂遺跡の価値	11,833
	2011.9.23～10.30	発掘された日本列島 2011	8,780
	2011.11.10～12.4	古代へのまなざし 芹沢銈介が愛した縄文・弥生	4,006
	2011.12.17～2012.1.27	弥生ファッションショー	3,766
	2012.2.11～3.20	赤い土器の世界 登呂式土器の赤彩を探る	4,070
24	2012.4.21～7.1	わがまちの遺跡展 登呂のとなりムラ鷹ノ道遺跡	13,877
	2012.7.14～9.23	登呂博物館開館 40 周年記念展 登呂遺跡はじめて物語 ～40 メモリーズ～	12,410
	2012.10.6～12.9	舟の力 ～古代人があこがれたノリモノ～	7,275
24-25	2013.1.12～6.30	米づくりの今昔 ～見て、触って、動かす農具～	29,972
25	2013.7.13～9.23	登呂のうた	8,881
	2013.10.5～12.8	特別史跡登呂遺跡発見 70 周年記念 弥生の戦い ～その時登呂ムラは!?～	5,925
25-26	2014.1.11～6.29	静岡の水田遺跡	23,787
26	2014.7.12～9.28	きっかけは登呂遺跡	9,392
	2014.10.11～12.7	縄文そして登呂 ～八ヶ岳山麓から駿河湾まで～	5,103
26-27	2015.1.17～6.21	祭礼のかたち	20,582
27	2015.7.11～9.23	豊かな水源に生きる	8,767
	2015.10.10～12.7	登呂のいす展	4,261
27-28	2016.1.16～5.29	登呂の食事情	21,211
28	2016.6.18～9.4	重要文化財登呂遺跡出土遺物展	8,983
	2016.9.17～12.4	弥生×登呂	6,949
	2017.1.7～3.5	静岡考古展	4,520
28-29	2017.3.18～6.4	石の刃物 鉄の刃物	13,559
29	2017.6.24～9.3	登呂発掘と静岡市の近現代	8,747
	2017.9.30～11.26	東海土器五十三次展	4,748
	2018.1.6～3.4	こだいの「ふふっ」展	5,011

年度	会期	展覧会名	観覧者数
29-30	2018.3.21～6.10	ウトウ・トロ・タカノミチ	14,025
30	2018.6.30～9.9	富士山がみえる	7,008
	2018.9.29～12.16	平成×登呂	5,155
	2019.1.12～3.3	登呂をとめ 安倍をとこ	3,121
30-31	2019.3.23～6.16	石をつかった、土器をつくった。－静岡市の旧石器・縄文時代－	15,276
1	2019.7.13～9.8	FIRE	6,697
	2019.10.5～12.1	芹沢銈介と考古(学)	4,139
	2020.1.11～3.1	古墳のきらめき ー賤機山古墳展ー	3,650
1-2	2020.3.20～6.14	お米づくり、はじめました。 ー静岡市の弥生時代ー	1,482
2	2020.7.3～9.13	実測	6,695
	2020.10.3～11.29	水とともに生きる	5,812
	2021.1.9～2.28	「ちっちゃ」展	2,885
2-3	2021.3.20～6.13	前方後円墳がやってきた	9,129
3	2021.7.3～9.12	ひょっこり有度山展	5,456
	2021.10.2～11.28	WOOD－木を活かす弥生人-	6,443
	2022.1.8～2.27	真っ直ぐな刀展	2,974
3-4	2022.3.19～6.12	誕生スルガノクニ ー静岡市の奈良・平安時代ー	11,640

4-7 通常展示

(1) 常設展示室（博物館2階）

概要：登呂遺跡にあった集落（ムラ）の生活を紹介する展示室。

平成11年から15年にかけて行われた登呂遺跡再発掘調査の成果を示しながら、ムラを再現したジオラマや映像媒体などを使った、直感的な展示を行っている。日本考古学史上大きな役割を果たした登呂遺跡の発掘調査について、当時発掘にかかわった人々へのインタビュー映像や新聞記事などの資料で分かりやすく伝えている。

また、平成28年に国の重要文化財に指定された出土品も数多く展示されている。

資料：重要文化財登呂遺跡出土品など

点数：約350点



(2) 弥生体験展示室(博物館1階)

概要：登呂博物館の特徴の一つである「体験学習」を行うための展示室。

弥生時代の登呂ムラを再現している。壁に描かれた風景と、復元された建物・道具によって、登呂ムラの様子が復元されている。従来は貫頭衣試着体験や、弥生時代の米づくりの体験が可能なスペースとし、当時使われていた様々な道具を実際に手に取り使用できた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和3年度は貫頭衣試着体験・道具を手取る体験を中断し、米づくり体験や田下駄体験は職員や博物館ボランティアが実際にやって見せる形とした。

博物館1階は無料で体験できる。



5 保存活用

5-1 修理事業

(1) 登呂遺跡出土品

登呂遺跡は昭和18年に発見された弥生時代後期の集落跡及びそれに隣接する水田跡を中心とした遺跡。戦後の昭和22年から25年にかけては、各大学の連携による学際的で大規模な調査が行われた。その調査は学史的にも有名なものである。

出土品は、土器と木製品が中心で、これらが「弥生時代の生業や集落の実態を初めて学界に示した遺跡からの出土品で、戦前から戦後にかけての日本考古学の研究史を語るうえで欠かせない資料」として、775点が平成28年に重要文化財に指定された。

(2) 修理概要

出土品は保存処理が行われておらず脆弱な状態のものが多いため、平成30年度から保存修理事業を開始した。まずは14年間をかけて木製品を中心とした459点の修理を行う。

修理は、出土品にとって優しく必要最低限なもので、可逆的な方法で実施する。

所有者：静岡市（実施：静岡市教育委員会）

期 間：平成30年度～令和13年度

費 用：文化庁補助金(1/2)、静岡市(1/2)

対 象：459点

(3) 基本的な修理方法

ア 記録

将来的な再処理も見据えて、事前の記録、処理工程・使用薬剤の記録、事後の記録などを確実にとる。

イ クリーニング

資料に損傷を与えない方法で表面に付着する汚れを除去する。

ウ 安定化处理・修復

基本的に樹脂を含侵させて、資料を強化する。ただし、素材やその状態に応じて処理内容を検討する。

亀裂があるものや折れているものは、樹脂含侵に加えて損傷部の補填・接合を行う。

エ 保存

一部の脆弱な資料について、保存台を作成する。

(4) 令和3年度実績

数 量：28点（保存台2点作成）

修 理：静岡県埋蔵文化財センター

運 搬：日本通運株式会社静岡支店

指導監督：文化庁文化財第一課

経 費：3,291,200円

5-2 資料貸出（出土品等）

令和3年度は、貸出実績が無しであった。

5-3 寄贈

令和3年度：寄贈実績が無しであった。

6 教育普及

6-1 主催事業

(1) 登呂遺跡復元水田活用事業（団体水田）

概要：遺跡内にある復元水田を市民団体・学校団体等に貸し出し、赤米などの稲作を行う。弥生時代の景観を復元・維持し、水田での活動を体験する場所を提供する。

期間：令和3年4月～令和3年12月

会場：復元水田

料金：無料

参加者：16団体



(2) 市民水田「登呂遺跡の田んぼで赤米づくり体験」

概要：個人を対象に小区画水田を貸し出し、田起こしから赤米の田植え・脱穀・粃摺りまでの稲作体験を行う。

期間：令和3年4月～令和3年12月

会場：復元水田

料金：3,000円

参加者：30組



(3) プラモデル「登呂遺跡」づくり体験

概要：登呂遺跡の住居と倉庫のプラモデル（フジミ模型）をつくる

日程：令和3年5月15日（土）10:00～15:00

会場：体験サポート施設

講師：登呂博物館体験指導員 巻田

協力：元登呂博物館学芸員 浅野氏
博物館ボランティア 吉田氏

料金：1,200円

参加者：5人（定員5人）



(4) 田園コンサート

概要：高校生による遺跡でのコンサート

日程：令和3年5月23日（日）、30日（日）

会場：登呂遺跡 学びの広場

協力：静岡女子高等学校吹奏楽部、城南静岡高校吹奏楽部
高松中学校吹奏楽部、豊田中学校吹奏楽部

《新型コロナウイルスの影響により中止》



(5) 田植え体験

概要：復元水田に赤米の苗を植える。また、水田で田下駄を履く体験も同時に行う。

日時：令和3年6月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日)の8日間

会場：復元水田

料金：100円

人数：353人



(6) 登呂遺跡の田んぼで生物観察

概要：復元された登呂遺跡で生物観察を行う。

日時：令和3年7月17日(土) 10:00~12:30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

協力：常葉大学教育学部 久留戸教授、同研究室学生5人
静岡市環境学習指導員 守屋氏

料金：100円

人数：8人(定員10人、キャンセル2人)



(7) 子ども学芸員養成講座

概要：考古学系の学芸員の仕事(発掘・測量・拓本・展示)を体験する。

日程：令和3年8月4日(水)、8月11日(水)、18日(水)
(全3回)

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

料金：300円

人数：5人(定員12人、小学5年生~中学2年生)



(8) ドロン子パーク

概要：より小さな子どもたちに、登呂遺跡の水田に親しみをもってもらえるようにするため。

期間：令和3年8月7日(土)~8月29日(日)間の土日祝

会場：登呂遺跡内復元水田

参加者：一般 239人、幼稚園等 60人



(9) へそもちづくり

概要：静岡県の風習で十五夜に供える「へそもち」を、登呂遺跡で収穫した赤米を混ぜてつくる。

《新型コロナウイルスの影響により中止》



(10) ザリガニ捕獲大作戦

概要：復元水田でアメリカザリガニを釣る。
日時：令和3年8月21日（土）9：30～11：30
会場：登呂遺跡 復元水田
料金：100円
人数：17組32人



(11) 土笛づくり

概要：粘土から整形、乾燥、野焼きを行い、土笛をつくる。
《新型コロナウイルスの影響により中止》

(12) みごほうきづくり体験

概要：収穫した稲藁を再利用し、「みごほうき」をつくる。併せて、登呂遺跡での稲作や登呂ムラで行われた「再利用」についても紹介する。
日時：令和3年10月16日（土）
① 10：00～11：30 ② 13：00～14：30
会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール
料金：300円
人数：計10人（午前5人、午後5人）



(13) 稲刈り・脱穀体験・石器づくり体験

概要：石包丁を使った稲刈り（穂摘み）と簡易的な脱穀・粃摺りを体験する。
日時：令和3年11月3日（水祝）、6日（土）、7日（日）、
13日（土）、14日（日）、20日（土）、21日（日）、
23日（火祝）、27日（土）、28日（日）
会場：復元水田、祭殿下
料金：稲刈り 100円 石器づくり 300円
人数：稲刈り 856人 石器づくり 310人



(14) しめ縄づくり体験「お正月は手作りのしめ縄で」

概要：復元水田で収穫した稲の藁でしめ縄を作る。
日時：令和3年12月25日（土）9：30～12：30
会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール
講師：増田 作一郎 氏
料金：300円
人数：47セット81人



(15) お年玉プレゼント

概要：常設展観覧者に対し、登呂遺跡復元水田で収穫した稲穂を小袋に入れたものを配布した。

日程：令和4年1月4日（火）、5日（水）

場所：登呂博物館2階 常設展示室前

料金：無料

数量：先着 100 個



(16) どんど焼き

概要：しめ縄づくり体験で作成したしめ縄を焚き上げ、豊穰を祈願する。

日時：令和4年1月9日（日） 10：30～11：45

場所：登呂遺跡

料金：無料

人数：約 60 人



6-2 共催・連携事業

(1) はぴままピクニック

概要：登呂博物館 10 周年記念イベントの一環として、飲食・物販・体験イベントを実施。

日程：令和3年5月15日（土）、16日（日）10：00～15：00

会場：登呂遺跡・登呂博物館

連携先：はぴまますずおか



(2) Mobile Theatre 「天空の謡（うた） 大地の書簡」

概要：回遊型体験演劇の公演。

日時：令和3年7月10日（土）、11日（日）

18：30～19：15

会場：登呂遺跡公園

連携先：Mobile Theatre 制作委員会



(3) ふじのくに文化財交流展キックオフイベント

概要：山梨県の縄文と静岡県の弥生を交換展示する「ふじのくに文化財交流展」のキックオフイベント。

日時：令和3年7月24日（土）、25日（日）

会場：アピタ静岡店

連携先：静岡県文化財課、山梨県文化財課



(4) 静岡市文化財展

概要：前年度に静岡市内から出土した資料などを展示。
会期：令和3年9月14日（火）～10月15日（金）
会場：登呂博物館1階 情報・映像コーナー
観覧者数：105人（資料配布数）
連携先：静岡市文化財課



(5) 第59回登呂まつり

概要：登呂遺跡の歴史文化を紹介し、地域の活性化を図るためのまつり。
日程：令和3年10月9日（土）、10日（日）
会場：登呂遺跡
連携先：登呂会、登呂まつり実行委員会
※新型コロナウイルスの影響により中止



(6) 本のひろば 2021

概要：移動図書館車ぶっくるによる本の閲覧や無線による図書館の業務端末を持参してもらい、貸出し等の業務を行った。
日時：令和3年11月6日（土） 10:00～15:00
会場：登呂遺跡 学びの広場
参加者：大人57人、子ども48人
連携先：市立中央図書館 移動図書館車 ぶっくる



(7) 登呂ミュージアムストリート vol.3

概要：3館連携でスタンプラリーを開催。
ワークショップで石器づくりを実施した。
会期：令和3年10月30日（土）～11月28日（日）
会場：登呂博物館、芹沢銈介美術館、駿府博物館
記念品：79セット配布
連携先：芹沢銈介美術館、駿府博物館
やまだいち



(8) 登呂博物館 ナイトミュージアム

概要：芹沢銈介美術館開館40周年を記念して博物館の夜間特別開館に加え、遺跡のライトアップ等を行った。
期間：令和4年2月5日（土） 18:00～20:00
会場：登呂遺跡・登呂博物館
人数：66人
連携先：芹沢銈介美術館



(9) アートロ「小屋をつくる。ムラをつくる。」

概要：水田で育てている稲から米を収穫するだけでなく、
稲藁の活用も考えてみる企画。

会場：登呂遺跡

期間：令和4年3月14日（日）9：30～16：30

参加者：14人

連携先：登呂会議 伊達剛



6-3 講師派遣・出張講座

(1) 市政出前講座 「静岡市の宝・登呂遺跡 ～充分（重文）知ってる？その魅力～」

概要：静岡を代表する遺跡である登呂遺跡について解説する。

① 静岡大学教育学部

日時：a. 令和3年6月1日（火）13：15～13：45

b. 令和3年7月14日（水）13：15～13：45

講師：登呂博物館学芸員 中村 匠吾

人数：計51人

② 東海大付属静岡翔洋小学校6年生

日時：令和3年7月9日（金）

a. 12：30～13：25 b. 13：30～14：25

講師：登呂博物館学芸員 梶山 倫裕

人数：計55人

③ 静岡市立富士見小学校4年生

日時：令和3年11月26日（日）11：20～12：05

講師：登呂博物館学芸員 梶山 倫裕

人数：計97人



(2) 「国宝・重要文化財の保存・修復に関わる講演会」

概要：登呂遺跡出土の朱漆の琴について

派遣先：日本漆アカデミー

日時：令和3年10月2日（土）13：00～16：00

講師：登呂博物館学芸員 梶山 倫裕

(3) サイエンスピクニック

概要：静岡科学館る・く・るが主催する自然科学分野の団体が集まるイベントにブースを出展した。題名を「石器の刃」と称し、弥生時代に穂積みの際用いられていた石器づくりを実施した。

日時：令和4年3月5日（土）13：00～16：00

令和4年3月6日（日）10：00～16：00

会場：静岡科学館 る・く・る

講師：登呂博物館体験指導員 巻田 直紀



7 職場体験・博物館実習等

7-1 職場体験

中学生の職場体験について、各校原則3日程度、一校あたり最大3人で受け入れた。弥生体験展示室での体験補助、屋外体験の補助、登呂遺跡で発見したことの展示ボード作成などの業務を行った。

番号	期間	学校	学年	人数
1	令和3年10月26日(火)～27日(水)	静岡市立高松中学校	2	2

7-2 視察等受入

番号	受入日	団体	目的
1	令和3年5月18日(火)	静岡創生	遺跡・施設見学
2	令和3年12月18日(日)	しずおか教師塾	遺跡・施設見学

7-3 博物館実習

概要：学生を受け入れ、学芸員資格取得のために必要な博物館実習を実施した。

期間：令和3年8月5日(木)～12日(木)≪7日間≫

人数：10人(定員10人)

(内訳) 大正大学1 京都女子大学1 立教大学1 聖心女子大学1 滋賀県立大学2
専修大学1 静岡大学2 東海大学1

内容：1日目 概要説明、体験学習、教育普及案発表
2日目 梱包、収蔵庫見学、保存処理施設見学
3日目 展示計画
4日目 展示作業、体験イベント補助
5日目 写真撮影実習、教育普及事業案検討
6日目 展示計画、体験イベント補助
7日目 展示準備、展示・発表

8 広報

8-1 広報印刷物

(1) 登呂遺跡・登呂博物館パンフレット

登呂遺跡及び登呂博物館の概要を紹介。英語版、簡体字版、繁体字版、韓国語版も用意。

仕様：マットコート紙 四六判 110kg、210×396mm（仕上 210×99mm）、蛇腹折り（四つ折り）



(2) 登呂遺跡イラストマップ

わかりやすいイラストで登呂遺跡を紹介。

仕様：上質紙 四六判 70kg、A4判（両面印刷）



(3) 年間スケジュール

仕様：マットコート紙 四六判 90kg、A4判（三つ折り）

部数：20,000部

備考：A3判の紙を使い、裏面には芹沢銈介美術館の年間スケジュールを掲載。



(4) その他

各種教育普及事業のチラシを適宜作成し、館内に配架したほか、市内小中学校や公共施設、近隣の町内会等に発送。

8-2 ウェブサイト・SNS

(1) 登呂博物館ホームページ

平成 22 年度より運用を行ってきた登呂博物館のホームページを一新。令和 2 年 1 月に新しいホームページを公開した。登呂博物館及び登呂遺跡の概要や利用案内、アクセス方法等のほか、各企画展やイベントの情報、お知らせ等を配信する。(https://www.shizuoka-toromuseum.jp)



(2) こどもトロベーパーク

令和 2 年 3 月、登呂遺跡の概要を小学生にもわかりやすく説明するウェブサイト「こどもトロベーパーク」を公開した。(https://www.shizuoka-toromuseum.jp/torobepark-info/)



(3) 登呂博物館 Twitter

登呂博物館の公式 Twitter アカウントを開設。令和元年 10 月より投稿を開始した。登呂博物館で行われる企画展やイベントに関する最新情報のほか、登呂遺跡の日常風景等を主に写真付きで配信する。(https://twitter.com/torohaku_torobe)



8-3 報道・広告等

(1) テレビ・ラジオ

- ・区役所内広告付き窓口案内表示にて企画展やイベント情報を放映
- ・NHK 静岡放送『ニュース たっぶり静岡』「古墳時代の企画展」
- ・SBS 静岡放送『ORENGE』「すゑひろがりずのまいるまいる」
- ・SBS 静岡放送『Sole いいね!』
- ・テレビ静岡『ただいま！テレビ』「ズミ☆どこ」

(2) 新聞

- ・静岡新聞「登呂遺跡をプラモに」(プラモデルづくり)
- ・読売新聞「プラモで学ぶ登呂遺跡」(プラモデルづくり)
- ・静岡新聞「古墳の形や地域差説明」(春季企画展関連講演会)
- ・静岡新聞「駿河総合高3年生復元水田で代かき」(学校連携事業田んぼサポーター)
- ・静岡新聞「駿河総合高校3年生復元水田で代かき」(団体水田)
- ・静岡新聞「「有度山の」魅力発信」(夏季企画展)
- ・静岡新聞「発掘と測量作業小中生、仕事体験」(子ども学芸員養成講座)
- ・静岡新聞「田園に吹奏楽の音色」(田園コンサート)
- ・読売新聞「パラ採火式中止や縮小」(パラリンピック採火式)
- ・読売新聞「有度山の歴史紹介」
- ・静岡新聞「登呂遺跡で“泥だらけ”」(ドロん子パーク)
- ・読売新聞「月の周りに光りの輪」(登呂遺跡写真掲載)
- ・静岡新聞「3館巡りグッズゲット」
- ・毎日新聞「石包丁で稲刈り 弥生時代を体験」(稲刈り体験)
- ・静岡新聞「石包丁で赤米収穫」(稲刈り体験)
- ・静岡新聞「県内史跡 AR“時空旅行”第1弾・登呂遺跡スマホ片手に弥生時代体験」(スマートフォンご当地アプリ)
- ・静岡新聞「日本刀に宿る精神性を解説」(冬季企画展関連講演会)
- ・読売新聞「直刀の魅力まっすぐに」(冬季企画展関連講演会)
- ・毎日新聞「古代の直刀から日本刀への変遷」(冬季企画展関連講演会)
- ・静岡新聞「市役所業務効率化に成果」(経費削減部門・登呂遺跡の落ち葉を堆肥として活用する事業)
- ・静岡新聞「奈良・平安時代の静岡は」(春季企画展)

(3) 雑誌等

ア 有料広告

- ・静岡駅コンコースビジョン
- ・パルシェビジョン
- ・JR 駅ポスター掲出(静岡、東静岡、清水)
- ・しずてつ駅ポスター掲出(新静岡、新清水等 計16駅)
- ・タブレット

イ 無料広告・掲載（主なもの）

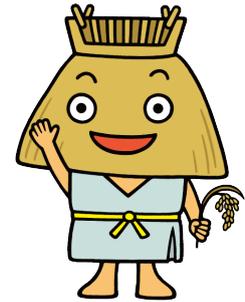
- ・『GRANSHIP』（ふじのくに文化情報センター）
- ・『すろ〜かる』（すろーらいふ）
- ・「広報しずおか 静岡気分」（静岡市広報課）
- ・『日本歴史』（日本歴史学会）
- ・『ミュージアム通信』（特定非営利活動法人キッズアートプロジェクトしずおか）
- ・ナビタイムトラベル
- ・『るるぶ 静岡 清水 浜名湖 富士山麓 伊豆'22』（株式会社 JTB パブリッシング）
- ・「タウン新聞しずおか」『リビング静岡』（静岡リビング新聞社）
- ・しずおかオンライン

(4) ウェブサイト・その他（主なもの）

- ・登呂博物館ホームページ
- ・静岡市ホームページ、静岡市 Facebook、静岡市 Twitter
- ・「駿府静岡市」（するが企画観光局）
- ・アトリエふじのくに（静岡県文化政策課）
- ・ハローナビしずおか（静岡観光協会）
- ・「まなぼっと」（静岡県総合教育センター）
- ・ふじのくに文化情報センター（静岡県文化財団）
- ・「しずはく.net」（静岡県博物館協会）
- ・日本博物館協会ホームページ
- ・日本考古学協会ホームページ
- ・「@S（アットエス）」（静岡新聞 SBS）
- ・キッズアートプロジェクトしずおか HP

8-4 トロペー

平成 22 年の登呂博物館リニューアルに向けて、デザイン及び愛称を公募して平成 21 年に誕生した登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター。平成 29 年 1 月に駿河区応援隊長にも就任し、登呂遺跡・登呂博物館だけでなく静岡市駿河区全体の PR 活動を行っている。



名前：トロペー

由来：登呂遺跡の「トロ」とおコメ（米）の「ベイ」から

肩書：登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター兼駿河区応援隊長

活動：博物館内における来館者とのふれあいの他、広報媒体や各種イベントに掲載・出演し、登呂遺跡・登呂博物館を宣伝している。

活用：平成 25 年度から静岡大学登呂博物館ボランティア「STV」がトロペーを活用する活動を開始。

平成 29 年 1 月 24 日には「駿河区応援隊長」に任命され、駿河区地域総務課が主体となり、駿河区のイメージキャラクターとしても活動している。

平成 30 年度には静岡市内にある城南静岡高校（駿河区南八幡町）の「地域貢献部」が、トロペー出演を含むボランティア活動を始めた。

活用状況（駿河区地域総務課が窓口となったものは含まない。）

番号	出演日	出演イベント	出演場所
1	令和 3 年 6 月 23 日	ただいま！テレビ	登呂遺跡、登呂博物館
2	令和 3 年 7 月 24 日、25 日	ふじのくに文化財交流展	アピタ静岡店
3	令和 3 年 11 月 3 日	ただいま！テレビ	登呂遺跡、登呂博物館



9 その他

9-1 博物館ボランティア

平成7年の活動開始以来、団体見学者の引率、体験展示室での説明補助、イベント補助などの活動を行ってきている。原則、毎月一回、博物館職員を交えた「ボランティア連絡会議」を開催している。

(1) 活動内容 ()内はボランティアの参加者数

月	会合	研修等			講座・イベント支援
		展示解説	米づくり	その他	
4月	会議 (25)	春季企画展「前方後円墳がやってきた。」(21)			前方後円墳をつくろう (1)
5月	会議 (29)		籾蒔き(5) 田起こし(14)		プラモデル「登呂遺跡」づくり体験(1)
6月	会議 (23)		代掻き・ 田植え(9)		田植え体験(3)
7月	会議 (17)	夏季企画展「ひょっこり有度山展」(18)	草取り(2)		
8月	会議 (14)				ザリガニ釣り(3)
9月	中止				
10月	会議 (30)	秋季企画展「WOOD」(30)	稲刈り(14)		みごほうきづくり(5)
11月	—		脱穀・もみすり (5)	『登呂博物館ボランティアの歴史』(23)	赤米収穫体験(5)
12月	会議 (29)			しめ縄づくり研修 (19)	しめ縄づくり(20)
1月	会議 (22)	冬季企画展「真っ直ぐな刀展」(22)		土器成形(13)	どんど焼き(9)
2月	会議 (19)			土器野焼き(9)	
3月	会議 (23)				

(2) 登録者数：57人（令和3年4月1日時点。前年同時期48人）

(3) 平均活動人数：1日平均5.3人（前年度比0.5人減）

(4) 新規ボランティア募集状況

ア 応募人数：9人

イ 募集期間：令和3年8月1日～8月31日

ウ 事前研修：下記研修日程表のとおり（研修日は各回どちらか1日を選択）

回数	日時	研修内容
1	10月7日（木）または10月9日（土） 9：30～12：00	・ガイダンス（ボランティア体制、館概要、接遇） ・常設展示室の説明
2	10月16日（土） 9：30～11：30 または 12：30～14：30	・みごほうきづくり体験補助 ・弥生体験展示室の説明
3	10月21日（木）または10月23日（土） 10：00～12：00	・企画展『WOOD』展示解説 ・遺跡の説明
4	10月30日（土） 9：30～12：00	ボランティア会議への出席 ※可能な方のみ

(5) 城南静岡高校ボランティアの活動

平成30年度から静岡市内にある城南静岡高校で「地域貢献部」が発足し、団体ボランティアとして登呂博物館で活動している。週末に体験展示室での体験補助や、夏休みのイベント等に参加・活動している。

部員数：6人（令和3年度） ※この人数は（2）の「登録者数」には含まない



9-2 博物館協議会

博物館法第20条第1項及び静岡市博物館条例第11条第1項の規定に基づき、登呂博物館に「静岡市立登呂博物館協議会」を置いている。なお、博物館協議会は博物館法第20条第2項において「博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関」と定められている。

(1) 委員名簿 (◎会長)

ア 任期 令和3年8月1日から令和5年7月31日まで (令和3年8月1日時点)

選出区分	氏名	職業・役職
市民	伊熊 修	市民公募委員
市民	鈴木 杏佳	市民公募委員
社会教育関係者	海野 美枝	HITS ファシリテーション代表
家庭教育関係者	木村 貴子	静岡市立高松中学校 PTA 顧問
学識経験者	渋江 かさね	静岡大学教育大学院学校組織開発領域 准教授
学校教育関係者	杉山 昌之	静岡市立清水第六中学校長
学校教育関係者	野田 修	静岡市立南部小学校長
◎学識経験者	堀切 正人	常葉大学教育学部教授 常葉美術館館長
学識経験者	木山 克彦	東海大学課程資格教育センター博物館学研究室 清水教養教育センター講師
社会教育関係者	弓削 幸恵	NPO 法人「まちなびや」理事長

※ 敬省略

(2) 令和3年度協議会開催実績

ア 第1回

日時：令和3年6月30日(水) 14:00~16:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

出席者：8人

傍聴者：0人

内容：(1) 令和2年度の事業報告

(2) 令和3年度の事業について

(3) 議題「登呂遺跡を誇りに思う市民を育む登呂博物館運営の在り方」

イ 第2回

日 時：令和3年10月6日（水）10：00～12：00

会 場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

出席者：10人

傍聴者：0人

内 容：（1）令和3年度上半期までの事業報告

（2）令和4年度の事業予定について

（3）議題「コロナ禍における安心・安全な登呂博物館運営の在り方」

10 利用案内

(1) 開館時間

9：00～16：30（博物館）、遺跡は24時間オープン

(2) 休館日

月曜日（休日の場合は開館）、休日の翌日、12月26日～1月3日 ※臨時開館・閉館する場合あり

(3) 観覧料（通常期：令和3年4月1日時点） ※博物館1階は無料でご利用いただけます。

区分	一回	団体※ ¹	回数券※ ²	共通券※ ³	団体共通券※ ^{1,3}
一般	300円	220円	1,400円	580円	460円
高校生・大学生	200円	150円	930円	360円	280円
小学生・中学生	50円	40円	230円	120円	90円

※1 「団体」は有料観覧者30名以上の団体

※2 「回数券」は5枚綴り

※3 「共通券」は登呂博物館に隣接する静岡市立芹沢銈介美術館との共通観覧券

ただし、以下の者は観覧料を無料とします。

ア 静岡市内に居住する70歳以上の者

イ 静岡市内に居住し、又は通学する小学校の児童及び中学校の生徒（これらに準ずる者）

ウ 未就学児

また、学校団体の見学、身体障害者手帳等の交付を受けた方とその同伴者1名など、観覧料の免除となる場合があります。詳細は登呂博物館にご確認ください。

(4) アクセス

ア バス JR静岡駅南口から10分 しずてつジャストライン石田街道線「登呂遺跡」行き終点下車

イ 自動車 (ア) 東名高速道路 静岡ICから10分

(イ) 東名高速道路 日本平久能山スマートICから10分

ウ 駐車場 博物館南側（東名高速道路側道北側）に有料駐車場あり（普通車一回400円）

(5) 音声ガイド ※新型コロナウイルス感染症対策のため一時休止中

常設展示室及び復元建物に音声ガイドを整備しています。専用のスマートフォンで利用できます。

ア システム 「pitatto」（ノムラテクノ株式会社）

イ 言語 日本語、英語、中国語（文字は簡体字）、韓国語

ウ 設置箇所 15（博物館内11、復元建物4）

エ 利用方法 専用のスマートフォンを博物館内で貸し出ししています。

オ 導入日 平成30年4月24日

静岡市立登呂博物館 館報 第 28 号 令和 3 年度

発行日：令和 4 年 6 月 30 日

編集発行：静岡市立登呂博物館

〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目10番5号

TEL 054-285-0476 FAX 054-287-1466

torohaku@city.shizuoka.lg.jp <https://www.shizuoka-toromuseum.jp>